

Governor's Monthly Letter

ROTARY INTERNATIONAL

ガバナー・月信
1990・7・1/No.1

国際ロータリー 第276地区
DISTRICT 276

RI 会長/ PAULO V. C. COSTA
RI 理事/ 蔵 並 定 男



ロータリーを高めよ
思いを尽くし熱意を尽くし

1990—1991年度
国際ロータリーのテーマ



ロータリーを高めよ — 思いを尽くし熱意を尽くし — (HONOR ROTARY WITH FAITH AND ENTHUSIASM)



真心こめて

Paulo V.C. Costa

「パウロ V.C. コスタ——ブラジル、サンパウロ州、サントス
1990-91年度国際ロータリー会長」

■ ロータリアン —— 何と祝福されたる者よ！

強力な指導力、卓越した市民、地域社会の重要な存在、事業・専門職務における輝かしい業績、一家の大黒柱——そうした底力を買われて、あなたは、この組織の一翼を担わされているのです。あなたが奉仕の手腕に富み、希望に満ち、そして事実、奉仕の道への召命を受けていることをみんなが認めています。そういう人として、あなたの同僚ロータリアンは、あなたに全幅の信頼を置いています。

自分たちの地域社会からそのように認められる者は名誉ある存在として祝福されていると考えざるをえないでしょう。その人には、奉仕される者より奉仕する者に、より大きな幸せがある、と理解する感性が備わっています。

世界167の国々と地域、その24,500以上のクラブで活動する110万を超す義勇兵によって組織される特命「平和十字軍」——あなたはその一員なのです。それだけではありません。ロータリーにおいてあなたは発見するでしょう。——100万に余る友人という隠れた財宝を、また奉仕をして、お役に立ち、あなたが受けた恩恵の、ほんのわずかをお返しする、という素晴らしい機会を…

いかにしてあなたはこの特典と 祝福に報いることができるか？

あなたは思いを尽くし力を尽くし熱意の限りを尽くして活動し、ロータリーの真価を高めることで、これに報いることができるのです。あなたにはお分かりでしょう——ロータリーの偉大な潜在力が我々全員の団結力にかかっていることを。だからこそあなたの積極的な参加が求められるのであって、それが最も大事なことです。ロータリー活動の価値に絶対の信頼を置いて下さい。何となればその活動は、現実を踏まえたものであり、善意の人々の無私の精神の結晶だからです。

ロータリーにあなたの熱意を燃やし続けて下さい。ロータリーは友情と融和を広め、あらゆる価値ある業務の品位を保ち、苦しみ悩む者の痛みを癒し、真実と正義を守り、諸国民の心からなる理解と平和を推進する力強い運動なのです。

■ ロータリーを高めよ —— 誠心誠意自ら活動することによって

あなたのクラブはあなたを必要としています。あなたのロータリーに対する誠意を信頼しています。あなたのアイディア、あなたの支援、あなたの経験、あなたの協力があなたの真の指導

力を確かなものにします。

何かを進めていくとき、あなた自身がなくてはならない人になって下さい。あなたのクラブが率先して行動するときは必ず協力して、真の支援者となって下さい。同僚関係を親友関係に、親友関係を兄弟愛関係にまで昇華しましょう。ロータリアンである特典に誇りをもって下さい。あなたの熱意の限りを注いで参加し、ロータリーの真価を発揮して下さい。

ロータリーを信奉し、世界に不滅の足跡を残して下さい。

■ ロータリーを高めよ — あなたの職業を尊厳なる日課とすることによって

よくなることも悪くなることもたやすいのですが、公正ということは難しいものです。

私たちは、ゆるぎない価値として、私たちの職務を通じて、常に、真実を堅持し、正義を推進し、正直を旨としなければなりません。あなたの業務を奉仕の壮大な機会とすることによってロータリーの真価を発揮して下さい。若者たちの模範というだけでなく、既に大人になった人たちの鑑としても、常に奉仕の道を歩んで下さい。ロータリーの健全なる信条を、同業組合や顧客、競争相手に伝えて下さい。奉仕の理想へのあなたの信念を示すことによって、最も懐疑的な人の心さえ、あなたの熱意でとらえて下さい。あなた自身のロータリーへの参加を尊厳なるものと認識し、道徳・倫理を堅持いたしましょう。

■ ロータリーを高めよ — 私たちの真の姿を明らかにすることによって

多くの人が私たちの貴重な奉仕に気づかないため、ロータリーの本当の姿がゆがめられていることがよくあります。多くの地域において、各種団体から私たちは誤解されています。政府すら誤解している場合があります。時には、私

たちの意図が間違っていて解釈されています。ですから、重要な奉仕団体としてのロータリーの実像を広める必要があります。そのためには、地域問題の解決に、また、あらゆる崇高な目的に貢献する優れたロータリー・プログラムの実践に、自ら参加する必要があります。幼い子たち、高齢の人々、家のない人々、貧しい人々に尽くす私たちの献身的働きによって、世界に、私たちの姿を最も強く訴えることができます。若い人と並んで歩み、私たちの信念と熱意を吹き込むことによって、現実の社会を確かなものにし、同時に、若い人に住みやすい世界を保証するような未来を築きましょう。

■ ロータリーを高めよ — 来るべき世紀に備えることによって

この魅惑的な激動の20世紀、今我々はその最後の10年という時期に生きているのです。ただ今現在ロータリーは素晴らしい存在となっていますが、21世紀においても大いなる希望の星であり続けることは間違いないでしょう。世界は小さくなりました。一方でロータリー自身は飛躍的な発展を遂げました。今日ロータリーは地上の至る所に存在し活動しています。私たちは、まれに見る素晴らしい国際的存在となりました。しかもなお感動的な一体感に結ばれております。

ロータリー財団と志高い国際的プロジェクトの成功は、私たちにこれをさらに一步前進させねばならぬという責務を与えましたが、同時にまた確実にそれを成し遂げ得るという自信をも持たせました。平和を至上のものとする。より偉大なる正義の世界を夢見つつ、完璧な合目的性のもとに行動しましょう。また「惑星地球」に住む我々の生活の質を高めるために、天然資源の維持保全に献身的な活動をいたしましょう。

貴重なボール・ハリスの遺産——

ロータリーを高めよ

——思いを尽くし熱意を尽くし!



ごあいさつ

「一期一会」の思いを尽くして

ガバナー 中 村 繁 男

クラブ会長および幹事の皆さん。各クラブロータリアンの皆さん。

私は7月1日が来るたびに、新しい年を1年に2度持つことの出来るのが、ロータリアンの特権であることに、大きな喜びを感じます。すなわち暦の上の新年と、ロータリーの新年度の2回であります。人間はだれも、年末には1年間に直面した悪いことを忘れてしまい、新年度には何かよいことばかりが起りそうな希望を持ちます。ロータリアンが2回新しい年を持つことの意味は、反省の上に立って、前進するための中継点を認識することです。

「逝くものは斯くの如きか、昼夜を^お舍かず」——井上靖氏はその著「孔子」の中で、「過ぎゆくものはみな、この川の流れの如きものであろうか。昼も夜もとどまることはない。人の一生も、一つの時代も、人間が造る歴史も、次々に流れ、流れ降って行って、とどまる^おところを知らない。このような時々刻々、うつろいゆく現象には、言い知れぬきびしさが漂っているが、それにしても川の流れは、流れ流れて、あの大海へと流れ込んでゆくではないか。それと同じように、人間が造ってゆく人間の歴史の流れもまた、人間が太古から夢みている平和な社会の実現へと、いつかは繋がってゆかぬ筈はない」と解説しています。約2千5百年前の思想家の言葉として、まことに鮮かであり、今日私どもが経験して来たことが、同じようなことの繰返しにすぎなかったことを教えています。ポーランド、ハンガリー、

そしてソ連邦にもロータリークラブが出来たということ。「逝くものは斯くの如きか」と何回も反芻している次第です。

さて、私達の年度のはじまりにあたり、私は「過去を振り返ってみる必要はあるけれど、後ろ向きになってはいけない」ということを肝に銘じ、新しい時代にかなうロータリーを考えるよう皆さんに要請します。また「一期一会」の思いを尽くして、公式訪問をはじめとする諸会合に臨んで頂きたいと念じております。例えば、今日の例会は決して先週の例会の繰返しではありません。生涯にただ一度のものという心がまえこそ、例会を盛り上げ、ロータリアンの存在感を高めることにつながってゆくものと信じます。

ロータリーが他の友好諸団体と比べ、より国際的であることは言うまでもありません。ロータリー財団をはじめ、数々のボードレスなプログラムが進行しつつあります。ポリオ・プラスはロータリーの奉仕が、地球上からもろもろの病気を一掃することを目標にしています。ロータリーがより国際的であることを、各クラブのリーダーは再認識すべきであります。日本の国際化という言葉はもう時代遅れとなり、グローバルという言葉にとってかわられる世の中です。私達のクラブも世界の変動についてゆくよう努力しなければなりません。

1年間、私とともに「ロータリーの真価を高めること」にお力をお貸しください。



盛田直前ガバナー を讃える

ガバナー 中 村 繁 男

盛田さんから伝統あるガバナー・エンブレムの引き継ぎを受けた。当地区の長い歴史をもの語るこのエンブレムの箱の中にはD.360 D.260 D.276 それぞれの時代の地区ガバナーの署名が秘められており、文字通りの地区の宝物である。盛田さんがこの中に名前を連ねたことによって、この宝物の価値は倍増した。由緒ある名古屋R.C.を代表して、大へんご多忙な中を献身的にガバナーの任を全うされたことは、地区内ロータリアンのすべてが評価するところである。

つい先ほどの「花水木」における地区大会も、画期的で斬新なものであり、「女性の時代」に焦点をあてるなど、ロータリーの新しい方向づけをなすものであった。ロータリーの巨大化を憂い、シンプルで、わかりやすいロータリーを

目指されたことも、大きな功績であった。今、パウロ・コスタ会長が世界中のロータリアンの一人ひとりと手を握り合いたいという気持ちは、盛田さんの考え方に通じている。盛田さんは親睦こそがロータリーの基本であることを、明快に身を以て、実現された。ヒュー・アーチャー直前会長のテーマ、「ロータリーを楽しもう」は盛田さんによって完璧に花開くことになった。

また、マス・メディアによる広報活動は盛田さんならではの大きな仕事で、地区の歴史にのこるものである。テレビを利用した広報、地区大会の新聞広報など、かつてないものであった。

パスト・ガバナーとしての一層のご活躍とご指導をお願いして、「盛田直前ガバナーを讃える」言葉を結びたい。

コスタ会長テーマによせて

ガバナー 中 村 繁 男

—ロータリーを高めよ 思いを尽くし熱意を尽くし—
HONOR ROTARY WITH FAITH AND ENTHUSIASM

英語の「HONOR」にしても、日本語の「高めよ」にしても、会長の真意を正確に伝えていえるとは言えません。

「VALORIZE」という意味で日本語の解釈においては、「ロータリーの真価を高めよ」と一つの単語をつけ加えて頂ければ、いくらかわかってくることと思います。

「FAITH」は信念、信頼、威厳等の意味を含みます。

「ENTHUSIASM」はギリシャ語の「THEOS」＝「神」を意味する言葉を含んでいます。日本語にも「神がかり」という俗語がありますが、会長は「神を信ずるものは生きている人間よりも大きくなる」と言っております。

要するに、本気になって、全身全霊で、ロータリーの各プロジェクトを推進すること、それがロータリーを高める結果を生むものであると信じます。

地区役員及び委員会委員

Cカウンセラー・◎委員長・○副委員長

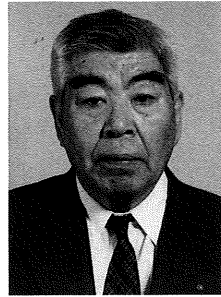
ガバナー・ナミニ	一	中	村	繁	男	崎	南	環境保全コーディネーター	C奥	谷	博	俊(P	G)
地区副								国際奉仕委員会	C田	中	徹(P	G)	
地区副								青少年交換(小)委員会	◎加	藤	幸	博(一	色)
地区副									◎安	本	精	治(名	古屋空
地区副									◎木	戸	政	助(名	古屋)
地区副									◎神	林	素	治(あ	ま)
地区副									◎小	山	正	文(名	古屋名東)
地区副									◎相	谷	弘	治(高	古屋東)
地区副								世界社会奉仕(小)委員会	◎安	藤	幸	治(名	古屋空
地区副									◎杉	浦	勝	郎(半	田)
地区副									◎堀	野	勇	夫(尾	張旭)
地区副								国際友好(小)委員会	◎片	田	正	俊(西	春日井)
地区副									◎加	山	主	水(名	古屋東南)
地区副								ロータリー・ボランティア活動(小)委員会(RVIA)	◎天	野	正	英(名	古屋空
地区副									◎加	藤	和	鈔(瀬	戸)
地区副								青少年奉仕委員会	◎福	山	巧	巳(一	色)
地区副								インターアクト(小)委員会	◎内	山	典	卯(豊	橋)
地区副									◎松	前	憲	央(一	宮北)
地区副									◎平	山	哲	明(津	島)
地区副									◎竹	内	邦	弘(豊	川)
地区副								ローターアクト(小)委員会	◎足	本	康	信(名	古屋)
地区副									◎丹	立	守	男(豊	橋)
地区副									◎小	嶋	洋	一(東	牧)
地区副								ローターアクト地区代表ライラ研究(小)委員会	◎河	崎	智	二(名	古屋瑞
地区副									◎山	合	史	豊橋RAC)	
地区副									◎北	田	秀	喬(東	知多)
地区副									◎清	水	良	之(春	日井)
地区副									◎安	藤	正	英(江	南)
地区副								ロータリー財団委員会(ロータリー情報コーディネーター兼務)	C盛	田	和	昭(P	G)
地区副									◎堀	田	逞	二(名	古屋中)
地区副								財団奨学金(小)委員会	◎加	藤	龍	彰(名	古屋空
地区副									◎小	出	忠	孝(名	古屋東)
地区副									◎星	野	充	一(名	宮)
地区副									◎村	瀬	彬	稲	沢)
地区副									◎川	島	保	之助(名	古屋守山)
地区副								財団校友会(小)委員会	◎深	田	敏	圀(岡	崎東)
地区副									◎浅	見	英	成(名	古屋千種)
地区副									◎矢	井	茂	成(豊	橋)
地区副										島	茂	茂(名	古屋守山)
地区副								ポリオ・プラス特別補助金(小)委員会	◎堀	田	逞	二(名	古屋中)
地区副								ロータリーボランティア・コーディネーター	◎日	比	栄	一(名	古屋北)
地区副								米山記念奨学金(小)委員会	C奥	谷	博	俊(P	G)
地区副									◎河	合	利	周(名	古屋北)
地区副									◎米	田	春	雄(岡	崎)
地区副									◎森	田	恒	夫(一	宮)
地区副									◎金	田	和	也(名	古屋東)
地区副								ロータリーの友委員会	◎川	部	正	也(尾	張旭)
地区副									◎朽	庭	義	寶(豊	橋)
地区副								オンツ・メキシコシティー	◎加	納	泉	一(名	古屋南)
地区副												泉(G	N)

1990-1991年度

分区代理紹介

尾張第1分区

永井 進



大正12年6月14日生
知多R.C.
シニア（セメント配布）
知多コンクリート工業(株)
取締役社長
1967年1月 入会
1973～'74 会長
1987年 知多R.C.に特別
代表として移籍

名古屋第1分区

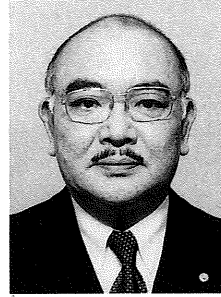
嶺木 一夫



大正5年6月4日生
名古屋瑞穂R.C.
シニア（住宅総合商）
丸美産業(株)
代表取締役会長
1980年1月 入会
1985～'86年度 会長

名古屋第2分区

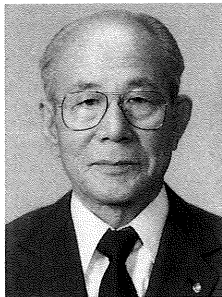
岡本 纈二



昭和4年9月14日生
名古屋名東R.C.
シニア（歯科医）
岡本歯科診療所院長
1973年2月名古屋和合R.C.入会
1987年6月 名古屋名東
R.C.移籍
1979～'80 会長
1989～'90 会長

東尾張分区

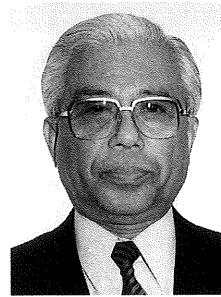
青山 鍵夫



大正10年2月17日生
瀬戸北R.C.
シニア（病院）
青山病院院長
1970年7月 瀬戸R.C.入会
1978年 瀬戸北R.C.移籍
1978～'80 会長

西尾張分区

長谷川 淳一



昭和7年1月4日生
尾張中央R.C.
新聞
(株)中日長栄社代表取締役
1975年11月 西春日井
R.C.入会
1983年12月 尾張中央
R.C.に移籍
1984～'85 会長

三河第1分区

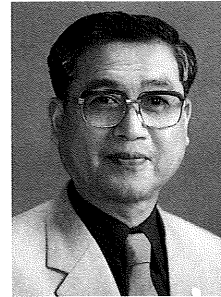
間瀬 誠一



昭和2年4月19日生
渥美R.C.
シニア（衣類販売）
(有)山治呉服店代表取締役
1969年4月 入会
1987～'88 会長

三河第2分区

市川 裕士



昭和6年9月22日生
刈谷R.C.
シニア（繊維製品配布）
(株)市川呉服店 社長
1968年 入会
1986～'87 会長
1988～'89 地区大会実
行幹事

1990—1991年度

地区委員会 委員長紹介

地区資金委員長

沢田 貞市



昭和3年6月20日生

半田R.C.

建築

(株)沢田工務店 取締役社長

1970年1月8日 入会

1987～'88 地区幹事

拡大委員長

山田 昇平



昭和2年11月29日生

名古屋栄R.C.

シニア（和菓子製造配布）

(株)大須ういろ 代表取締役会長

1963年7月 入会

1971～'72 名古屋中R.C. 会長

1981～'82 尾張第1分区代理

1985～'86 名古屋大須R.C.

会長

1988～'89 地区広報委員長

1989～'90 地区クラブ奉仕委

員長

クラブ奉仕委員長

福与 碩夫



昭和7年1月26日生

名古屋中R.C.

シニア（歯科医）

医療法人誠晋会理事長

1970年11月2日 入会

1984～'85 会長

1985～'87 地区職業奉仕委員

1987～'89 地区職業奉仕副委

員長

1989～'90 地区職業奉仕委員長

会員増強委員長

中根 比呂志



昭和2年11月27日生

岡崎R.C.

シニア（打綿製造）

(株)中根豊三商店 代表取締役

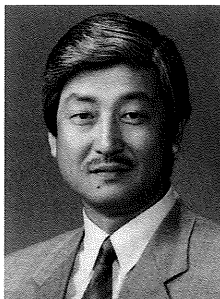
1962年1月10日 入会

1978～'79 会長

1988～'90 地区R.A. 委員長

広報委員長

小山 勇



昭和10年1月29日生

名古屋西R.C.

新聞

中日新聞社 常務取締役

1985年11月21日 入会

職業奉仕委員長

岡田 一秀



大正10年10月18日生

岡崎南R.C.

シニア（印刷）

ブラザー印刷(株)専務取締役

1966年8月21日 入会

1977～'78 会長

1985～'86 三河第2分区代理

1987～'88 地区青少年交換委員

1988～'90 地区I.A. 委員長

社会奉仕委員長

梅田 章次



大正5年1月1日生

岡崎R.C.

シニア（精密機械製造）

(株)豊岡工業製作所 代表取締役

1969年7月2日 入会

1977～'78 地区R.A. 副委員長

1978～'83 地区R.A. 委員長

1983～'84 会長

1986～'88 地区職業奉仕副委

員長

1988～'90 地区社会奉仕委員長

国際奉仕委員長

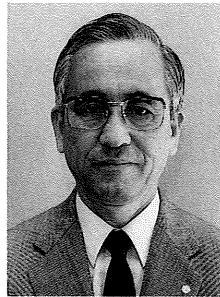
加藤 博



大正9年6月27日生
一色R.C.
シニア(英語塾)
加藤英語塾塾長
1973年4月10日 入会
(4年)交換研究グループ委員
(4年)地区青少年交換委員
1986～'87 会長
1987～'88 三河第2分区代理
1988～'90 地区国際奉仕副委員長

青少年交換委員長

木本 精之助



昭和4年1月6日生
名古屋R.C.
シニア(YMCA)
名古屋YMCA 南山幼稚園園長
1977年7月 入会
1979～'80 地区I.A委員
1980～'81 地区青少年交換委員
1986～'90 地区青少年交換委員長

世界社会奉仕委員長

安藤 幸治



昭和2年4月22日生
名古屋空港R.C.
シニア(輸出入)
㈱幸和 代表取締役
1974年7月1日 入会
1981～'82 会長
1985～'86 地区副幹事
1988～'89 地区世界社会奉仕副委員長
1989～'90 地区世界社会奉仕委員長

国際友好委員長

片山 主水



昭和14年11月17日生
名古屋東南R.C.
シニア(弁護士)
片山主水法律事務所所長
1972年3月9日 入会
1988～'90 地区国際友好委員

ボランティア活動委員長

天野 正英



大正3年1月1日生
名古屋空港R.C.
シニア(肖像写真)
㈱天野写真室 代表社員
1974年 入会
1983～'84 会長
1989～'90 東尾張分区代理

青少年奉仕委員長

福山 巧



昭和4年4月13日生
名古屋南R.C.
シニア(冷蔵倉庫)
福山冷蔵(株) 取締役社長
1968年9月18日 入会
1979～'80 地区幹事
1982～'83 地区国際奉仕委員
1985～'87 地区R.A.委員
1987～'88 地区青少年奉仕副委員長
1988～'90 地区青少年奉仕委員長

インターアクト委員長

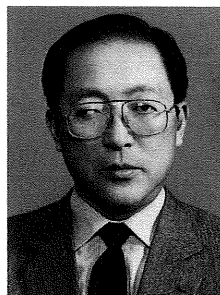
松前 憲典



昭和6年1月3日生
一宮北R.C.
シニア(歯科医)
松前歯科医院院長
1967年9月1日 入会
1984～'85 会長
1988～'90 地区I.A.委員

ローターアクト委員長

足立 守男



昭和6年5月9日生
豊橋R.C.
給食
万寿膳(株) 代表取締役社長
1972年6月15日 入会
1988～'90 地区R.A.委員

ライラ研究委員長

山 田 喬



大正15年2月17日生
東知多R.C.
シニア(外科病院)
山田病院院長
1969年6月13日 入会
1980～'81 会長
1987～'88 尾張第1分区代理
1989～'90 地区職業奉仕副委員長

ロータリー財団委員長 (兼ポリオ・プラス委員長)

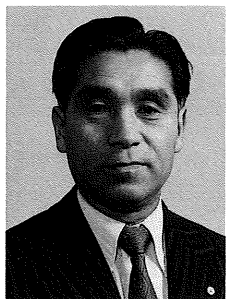
堀 田 逞 二



昭和5年9月2日生
名古屋中R.C.
シニア(空調配管)
ホッタ設備工業(株) 取締役社長
1969年10月13日 入会
1974～'75 会長
1975～'76 地区会員増強委員
1984～'85 地区職業奉仕委員
1988～'89 地区ポリオ・プラス委員長
1989～'90 地区R.財団副委員長
// 地区ポリオ・プラス委員長

財団奨学金委員長

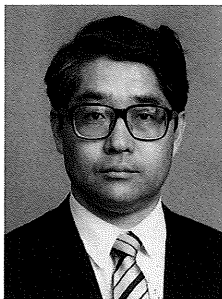
小 出 忠 孝



昭和6年1月11日生
名古屋東R.C.
シニア(歯学教育)
愛知学院大学学長
1966年2月7日 入会
1987～'89 地区財団奨学金委員
1989～'90 地区財団奨学金委員長

財団学友会委員長

深 見 章



昭和18年12月16日生
名古屋千種R.C.
弁護士-国際
深見法律事務所所長
1982年9月14日 入会
1988～'89 地区財団学友会委員長

ロータリー・ボランティア ・コーディネーター

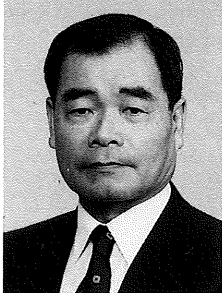
日 比 栄 一



昭和4年1月10日生
名古屋北R.C.
シニア(歯科補綴医)
日比歯科医院院長
1971年5月14日 入会
1990～'91 会長

米山記念奨学会委員長

河 合 利 周



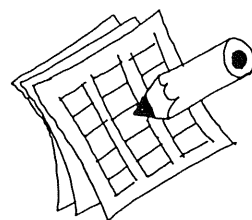
昭和10年8月16日生
名古屋北R.C.
シニア(電球製造)
愛知電球(株) 代表取締役
1969年2月28日 入会
1973～'74 地区Rの友委員
1974～'75 地区雑誌委員
1977～'78 地区職業奉仕委員
1979～'80 地区米山記念奨学会委員
1988～'90 地区米山記念奨学会委員長

ロータリーの友委員長

川 部 庭 資



昭和14年11月30日生
豊橋R.C.
水産物加工
(株)カワベ 代表取締役
1970年5月28日 入会
1988～'89 地区副幹事, ロー
タリーの友委員
1989～'90 地区青少年奉仕副
委員長



第276地区1990～91年度 地区資金予算書

《一般会計の部》

収入の部				
科 目	1988～89年 決 算 額	1989～90年 当 初 予 算	1990～91年 当 初 予 算	備 考
繰越金（前年度）	3,016,107	0	0	1990～91年度
地区資金	24,705,000	26,500,000	27,050,000	(計算の基礎)5,000円×5,410人
				1月末現在 3新クラブ 1%増
				5,240人+120人+50人
雑収入	66,167	50,000	50,000	
合 計	27,787,274	26,550,000	27,100,000	

支出の部				
科 目	1988～89年 決 算 額	1989～90年 当 初 予 算	1990～91年 当 初 予 算	備 考
国際ロータリー行事費	(965,200)	(800,000)	(800,000)	
ガバナー国際協議会出席補助金	600,000	600,000	600,000	
R.I規程審議会出席補助金	365,200	200,000	200,000	
地区行事費	(4,512,979)	(5,200,000)	(5,400,000)	
地区大会費	2,200,000	2,200,000	2,400,000	
地区協議会費	412,979	1,100,000	1,100,000	
I . M . 費	1,400,000	1,400,000	1,400,000	200,000円×7分区分
次年度会長研修セミナー費	500,000	500,000	500,000	
地区運営費	(8,141,203)	(7,900,000)	(8,500,000)	
ガバナー会議出席補助金	1,638,860	1,500,000	1,500,000	
ガバナー事務所補助金	4,000,000	4,000,000	4,000,000	
ガバナーノミニー事務所補助金	400,000	400,000	1,000,000	
地区会計費	200,000	200,000	200,000	
地区幹事費	300,000	300,000	300,000	
分区分代理費	1,202,343	1,000,000	1,000,000	100,000円×7分区分+(会議費)300,000円
記念品・餞別	300,000	300,000	300,000	
特別代表費	100,000	200,000	200,000	50,000円×4クラブ(予定)
地区委員会費	(5,300,335)	(4,000,000)	(5,500,000)	
地区諮問委員会費	1,481,220	1,300,000	1,400,000	
地区指名委員会費	0	50,000	50,000	
地区資金委員会費	50,000	50,000	50,000	
情報コーディネーター費	0	0	50,000	
拡大カウンセラー費	0	50,000	50,000	
クラブ奉仕委員会費	50,000	200,000	200,000	
会員増強委員会費	112,170	200,000	200,000	
広報委員会費	22,050	200,000	200,000	
職業奉仕委員会費	200,000	200,000	200,000	
社会奉仕委員会費	25,048	200,000	200,000	
ロータリーボランティア活動費	0	0	200,000	
国際奉仕委員会費	472,400	500,000	500,000	
国際友好委員会費	50,000	50,000	50,000	
青少年奉仕委員会費	207,600	0	300,000	
インターアクト委員会費	799,752	0	300,000	
ローターアクト委員会費	1,058,800	0	300,000	
ロータリー財団委員会費	198,265	200,000	200,000	
財団奨学金委員会費	135,250	250,000	250,000	
財団学友会委員会費	231,470	250,000	250,000	
ポリオプラス委員会費	0	50,000	50,000	
米山記念奨学会委員会費	206,310	200,000	250,000	
ライラ研究委員会費	0	0	200,000	
ロータリーの友委員会費	0	50,000	50,000	
特別活動事業費	(3,625,000)	(5,000,000)	(5,000,000)	
雑費	(906,028)	(600,000)	(600,000)	
予備費	(0)	(3,050,000)	(1,300,000)	
次期繰越金	4,336,529			
合 計	27,787,274	26,550,000	27,100,000	

第276地区1990～91年度 地区特別会計収支予算

《特別会計の部》

科 目	区 別	収 入 の 部							合 計
		地 区 大 会 協 力 金 円 人 4,000×5,410	青 少 年 交 換 事 業 資 金 円 人 1,500×5,410	世 界 社 会 奉 仕 事 業 資 金 円 人 1,000×5,410	研 究 グ ル ー プ 交 換 事 業 資 金	ガ バ ナ ー 会 議 運 営 協 力 費 円 人 200×5,410	ロ ー タ リ ー 文 庫 運 営 協 力 費 円 人 200×5,410	青 少 年 奉 仕 委 員 会 資 金 円 人 1,000×5,410	
1990～91年度 (内 訳)									
前 年 度 繰 越 金		0	6,483,660	0	307,393	0	0	0	6,791,053
協 力 金 ・ 事 業 資 金		21,640,000	8,115,000	5,410,000	0	1,082,000	1,082,000	5,410,000	42,739,000
合 計		21,640,000	14,598,660	5,410,000	307,393	1,082,000	1,082,000	5,410,000	49,530,053

科 目	区 別	支 出 の 部							合 計
		活 動 費							
活 動 費		0	8,115,000	5,410,000	0	0		5,410,000	18,935,000
送 金		21,640,000	0	0	0	1,082,000	1,082,000	0	23,804,000
合 計		21,640,000	8,115,000	5,410,000	0	1,082,000	1,082,000	5,410,000	42,739,000
次 年 度 繰 越 金		0	6,483,660	0	307,393	0	0	0	6,791,053

注. 青少年交換事業資金の繰越金額は1989～90年度分の決算確定前のため、前期繰越金額を計上させて頂きました。

1990～91年度 地区予算編成方針

本年度（1990～91）の地区収支予算については、一部を除き大筋で前年度予算を踏襲した基本方針の基に編成しました。収支増減の部分については、次の通りとなります。

- (1) 地区クラブ会員数計算の基礎～5,410名(1月末会員数5,240人+新3クラブ120人+1%増50人)
- (2) 地区大会費～前年比200,000円増額(据置期間が長く、諸経費増加分を補うため増額)
- (3) ガバナー・ノミニー事務所補助費～前年比600,000円増額(自己負担分軽減補助とし増額)
- (4) 地区諮問委員会費～前年比100,000円増額(前々年度実績を参考に修正増額とした)
- (5) 米山記念奨学会委員会費～前年比50,000円増額(奨学生の募集・選考等経費補助のため)
- (6) ローター・ボランティア活動費～新規200,000円設定・国際奉仕関係(国際的要望に応じボランティア活動を行う)
- (7) 青少年奉仕委員会費～復活300,000円(特別会計の青少年奉仕委員会資金との合同運営費)
インターアクト委員会費～復活300,000円(〃)
ローターアクト委員会費～復活300,000円(〃)
- (8) ライラ研究委員会費～新規200,000円(青少年指導者養成のための研修及び関係活動費として)
- (9) その他、特別会計の各科目毎の負担金は、前年度同様据置とした。

以上の通り、前年度予算対比増減部分及び新設科目毎に変更箇所についてご説明を申し上げます。

従って、本年度一般会計の部における収支総予算額27,100,000円及び特別会計の部における42,739,000円の予算編成になります。

1990～91年度 ガバナー公式訪問日程

7 月	8 月	9 月	10 月	11 月
11 (水) 豊 川	1 (水) 稲 沢	1 (土) 名古屋守山	1 (月) 名古屋中	6 (火) 西春日井
13 (金) 田 原	3 (金) 津 島	3 (月) 豊 田 西	2 (火) 名古屋千種	7 (水) 岡 崎
16 (月) 名古屋空港	6 (月) 知 多	6 (木) 江 南	3 (水) 名古屋和合	9 (金) 豊 橋
17 (火) 西 尾	7 (火) 名 古 屋	7 (金) 一 宮 北	4 (木) 一 色	ゴールデン
19 (木) 名古屋東南	8 (水) 小 牧	10 (月) 豊 橋 南	8 (月) 尾 西	13 (火) 豊 橋 北
20 (金) 蒲 郡	10 (金) 新 城	11 (火) 名古屋名東	9 (火) 半 田 南	14 (水) 東 海
24 (火) 豊川宝飯	20 (月) あ ま	12 (水) 名古屋南	12 (金) 名古屋北	15 (木) 豊 橋
25 (水) 渥 美	21 (火) 瀬 戸 北	13 (木) 豊 田	17 (水) 名古屋名北	16 (金) 常 滑
26 (木) 名古屋西	22 (水) 尾張中央	14 (金) 安 城	18 (木) 名古屋大須	19 (月) 名古屋東
27 (金) 名古屋港	23 (木) 半 田	18 (火) 犬 山	20 (土) 東 知 多	20 (火) 岡崎城南
30 (月) 刈 谷	24 (金) 春 日 井	20 (木) 名古屋瑞穂	23 (火) 豊山城北	21 (水) 豊 田 東
	25 (土) 一 宮	21 (金) 尾 張 旭	24 (水) 瀬 戸	26 (月) 名古屋栄
	28 (火) 岩 倉	22 (土) 奥 三 河	25 (木) 岡 崎 東	30 (金) 岡 崎 南
		25 (火) 高 浜		
		26 (水) 碧 南		

1990～91年度 地区行事予定表 (7, 8 月分)

開 催 日	行 事	場 所
1990年 7 月22日 (日)	地区I.A.C.協議会	豊橋市民文化会館
7 月24日 (火)	田原パシフィックRC創立総会	田原・華山会館
8 月 9日 (木)	豊橋RC創立40周年記念	豊橋グランドホテル
8 月19日 (日)	豊田西RC創立20周年記念	豊 田 ・ 出 雲 殿

1990～91年度 IM行事予定表

〈IGFからIMへ〉

従来、分区を中心としたIGF (Intercity General Forum) すなわち都市連合一般討論会をIM(Intercity Meeting) 都市連合会と呼ぶことになりました。

RIは現在、手続きをはじめ、公文書にはIMの用語を使用しており、IGFは使用していません。この会合を討論のみならず、親睦の場ともするよう、会合の呼称を、より広汎なIMとしたようです。従って、内容は従来と変わりません。

なお、本年度のIMは、下記の通り開催される予定です。

名古屋第2分区 (IM)	1990年10月15日	名古屋名東R.C.ホスト / ナゴヤキャッスル
名古屋第1分区 (IM)	〃 年11月 8日	瑞穂R.C.ホスト / 名古屋ヒルトンホテル
西尾張分区 (IM)	〃 年11月17日	尾張中央R.C.ホスト / 名鉄グランドホテル
尾張第1分区 (IM)	〃 年11月28日	知多R.C.ホスト / 知多市勤労文化会館
三河第2分区 (IM)	〃 年12月14日	刈谷R.C.ホスト / 刈谷市勤労文化会館
東尾張分区 (IM)	1991年 2月16日	瀬戸北R.C.ホスト / ナゴヤキャッスル
三河第1分区 (IM)	〃 年 2月17日	渥美R.C.ホスト / 伊良湖ビューホテル

お知らせ

「ロータリーの友」英語版のご注文について

「ロータリーの友」英語版には、日本語版ロータリーの友誌より海外向けにふさわしい記事を転載するほか、日本の文化、社会、経済などの事情の紹介記事を掲載しております。

この英語版を皆様にぜひご活用賜りたいと存じ毎年ご協力をお願い申し上げている次第です。

特に1976-77年度版よりは、各会員の一割を目標にお買い上げ、ご活用をお願い致しております。

年2回、11月と4月に刊行され、1部の単価は515円（消費税、送料込）です。各クラブ幹事様宛にご注文葉書が送られます。

事務局ご案内

中村ガバナーのご指導のもとに地区の皆様方のお手伝いをさせていただきます。どうぞよろしくお願いします。

ガバナー事務所 〒444 岡崎市本町通1-7 東海銀行岡崎支店内

TEL 0564-25-4437 FAX 0564-25-0008

地区幹事	宮本 昌幸	宮本商事(株)取締役社長	0564-52-4555
地区副幹事	中根 義郎	ナカネ新建材(株)取締役社長	0564-22-0128
〃	都築 斉	ミヤコ(株)取締役社長	0564-52-6611
〃	大村 栄治	(株)マルコ大村商店専務取締役	0564-21-0029
〃	牧 真	日本イコール化学工業(株)取締役社長	0564-51-8272
地区会計長	早川 弘三	オカザキ製パン(株)取締役社長	0564-52-2511
地区会計監査	太田 賢太郎	太田賢太郎税理士事務所所長	0564-52-1300
地区補佐	岡田 邦弘	第一液化ガス(株)取締役社長	0564-51-5601
〃	小野 修平	(資)小野印房社長	0564-21-0194
事務局員	中村 民子		



5月6日に開催された「長篠合戦のぼりまつり」にて

祭馬曳ひいて長篠城を指呼くこ

繁男

ガバナー歳時記

昭和六十二年作。三河一宮砥鹿神社祭礼にて。流鏑馬やぶさめの少年武者の勇姿を見ているうちに、この句が浮かんで来た。「長篠合戦絵巻」にはなやかに画かれている。武田騎馬軍団の姿に、歴史の流れの無常迅速を思わずにはいられない。「祭」は夏の季語